

ふりがな 氏 名	とみた り え 富田 理 恵	職 名	准教授
取得学位	文学修士・早稲田大学大学院文学研究科修士課程 M.Litt・英国セント・アンドルーズ大学 スコットランド史学科		
学歴	早稲田大学文学研究科博士後期課程単位習得、退学		
所属学会	日本西洋史学会、日本イギリス哲学会、日本ピューリタニズム学会、キリスト教史学会、日本スコットランド学会		

教 育 活 動			
(主な担当科目)			
2026 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2025 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2024 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2023 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2022 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2021 年：英米の言語と文化	海外実践	歴史学	人間の歴史
2015 年まで：西洋史概論 歴史学 人間の歴史			

研 究 活 動 (過去 6 年間の主たる活動)	
著書	
研究発表	
・スコットランド「契約派」はなぜ「変節」し国王を奉じたのか 「イギリス宗教改革と『プロテスタント国家』再考：イギリスの統合と分離の淵源を探る」(2021 年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究 (B) 採択課題) に関する研究会 2023 年 1 月 ・岩井淳、竹澤祐丈編著『ヨーロッパ複合国家論の可能性 ―歴史学と思想史の対話―』 ミネルヴァ書房 2021 年刊 のうち第 11 章、第 12 章、第 13 章へのコメント 『ヨーロッパ複合国家論の可能性』のイギリス部分の書評会 2021 年 9 月 22 日	
その他	
・コラム 「スコットランドとイングランド」 岩井淳『複合国家の世界史』(山川出版社) 所収 2024 年 ・書評 Steven, J.Reid, ed., <i>Rethinking the Renaissance and Reformation in Scotland: Essays in Honour of Roger A. Mason</i> 『イギリス哲学研究』第 49 号 87-90 頁 2026 年 3 月 ・書評 Chris R. Langley, ed., <i>The National Covenant in Scotland, 1638-1690</i>, 『ピューリタニズム研究 第 19 号 2025 年 3 月 83-84 頁	



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・書評 桜井俊彰著『スコットランド全史 「運命の石」とナショナリズム』中村隆文著『物語 スコットランドの歴史 イギリスのなかにある「誇り高き国」』『カレドニア』第50号(pp. 31-33) 2023年12月・書評 木村正俊著『スコットランド通史—政治・社会・文化—』『カレドニア』第50号(pp. 39-41) 2022年10月 |
|--|

社 会 活 動

- | |
|-------------------------------|
| ・日本ピューリタニズム学会理事 日本スコットランド学会理事 |
|-------------------------------|



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY